赤豹のサンクチュアリ

この山には
赤い花模様を持つ
豹が
棲んでいました

山の守り神である
〝赤ヒョウ様〟の爪や骨は

喰らえばあらゆる病を癒やす
万能薬と言われていました

あれは町で不治の病が流行った年——

けれど
それだけでは
終わらなかったのです

薬を服用した者の肌には

赤い豹柄の疱瘡が現れ

皆

死んでしまいました

初コミックス「四季」(原作：森博嗣)絶賛発売中！

猫目トーチカ

連載完結後初のオリジナル読みきり

赤豹のサンクチュアリ

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは関係ありません。

……
ビャオ――
ビャオ――
ヒュオオオ
グッ
よっ
一度テントに
戻って教授に
連絡を…
ビャオ
ビャオ
ビャオ
え？
ミシミシ
ギッ

っ……
ビャオー
!
パキ
ズリッ
ビャオー!
ビャオー!
……
カサッ
うわあああぁ
ザッ
ザザッ
ガサガサ
ガサ
ガサッ
ザザッ
ビクッ
サササッ

何をなさっているのですか？

――あ

上の…崖から落ちて…
助けを呼ぼうと
それで獣の鳴き真似を？

…えっと僕は！
カー
生物環境学を研究してる学生で

この山に棲む動物についての調査をここの地主から頼まれて
教授のお供で来てたんですが…
遭難したのですね？

そうなん……
たしかに
手をお貸しします
近くに休めるところがあるので

降り出しましたし早くしましょう
ポツ
ポッ
ザァ…
よっと
ぐいっ
!
ひとりで歩けますから!

〝調査〟というのは？

ああ

先月人が何かの獣に襲われた件です

その山の土地開発の準備に来た作業員が3名も亡くなった

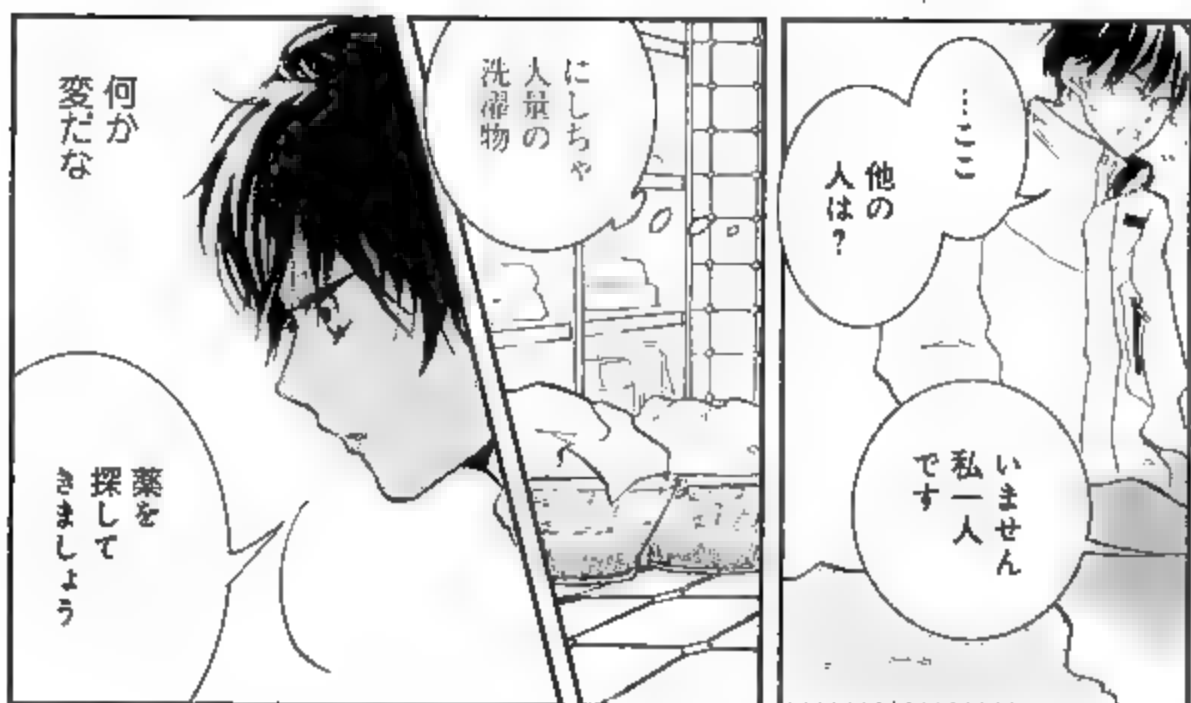
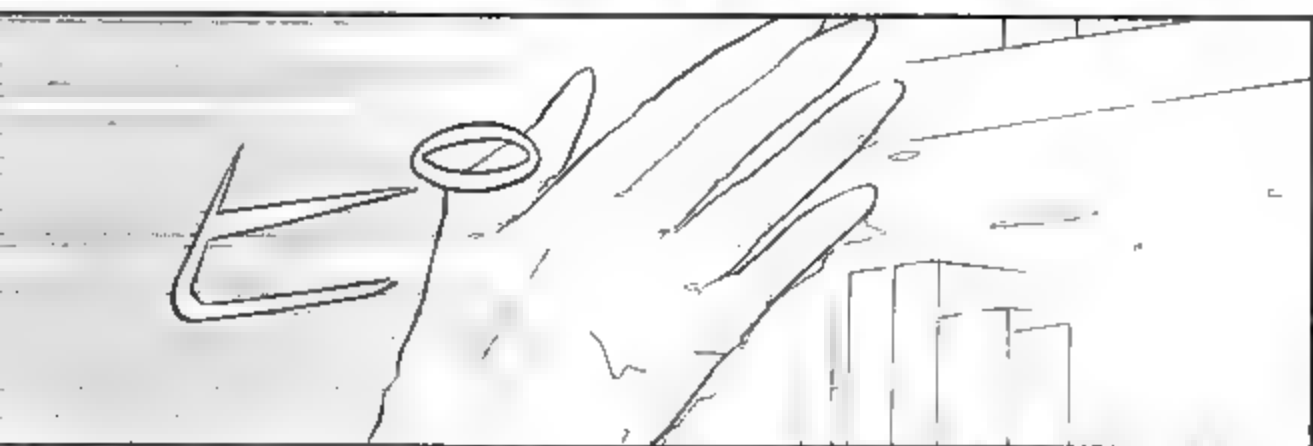
知りません？

地元の人が〝赤ヒョウ様の祟りだ〟なんて言ってる騒動ですよ

ここは？
昔新薬の研究や製造に使われていた施設です
ガリ
チッ
今は使用されておらず
私が管理を任されています
ギィィ
申し遅れました
私
上代律と申します
高遠です
高遠様は県外からいらしたとのことですが…
様？

この山は〝赤ヒョウ様〟の聖域
踏み入れば祟られるのは本当です
あまり深入りしない方がよいかと
踏み入ればって…
じゃここは？
祟り
はいですから
ずいぶんまえに廃業しました
でも祟りじゃ開発事業者は納得しないですからね
…そうですか
あ ども
チャプ
どれだけ被害者が出れば
諦めがつくのかしら…
………
伝承はそれなりの理由があるから残るのです
たたり

え
手袋したまま??
ショ～ケキ
じいっ
ジャブッ
ドキッ
…ここ他の人は？
いません私一人です
にしちゃ大量の洗濯物
何か変だな
薬を探してきましょう

そっか
もともと
製薬所
なんでし
たっけ？
ひょこっ
赤ヒョウ飼育記録
赤ヒョウ飼育記録
はい　でも
ある伝染病に
特化した
薬が専門で
捻挫に
効く薬が
あるかしら…
機密事項
ですので
触らぬよう
お願い
します
ポタッ
ポタ

……？
すみません…
雨が止むまで
この部屋で
お過ごしください
バサッ
ただし
他の部屋には
入らぬように
してください
バターン

さっきの…
調査の手掛かりになりそうだったけど
赤ヒョウ飼育
赤ヒョウ飼育
あの感じじゃ教えてもらえなさそうだな

中庭の隅のあれ檻か？
ザァァァ
やっぱり何か飼ってたんだ

ガタンッ
えっ

今何か動いた…？

そうだ…
滑落のときに聞いた鳴き声
ここで飼ってた猛獣が放たれて
野生化してたとしたら辻褄が合うんじゃ

つーか今のも檻の外にいたような

よく見えないな

キィ…

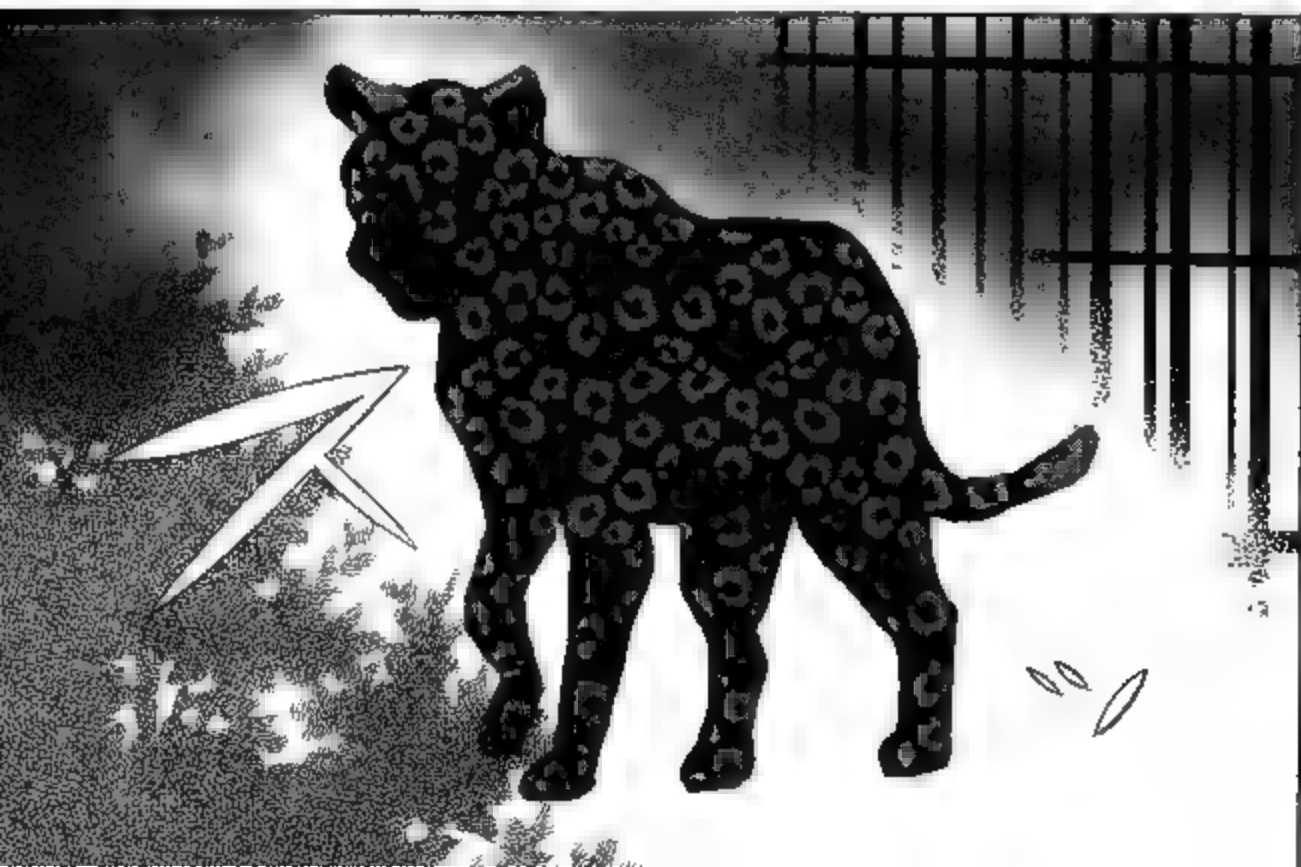
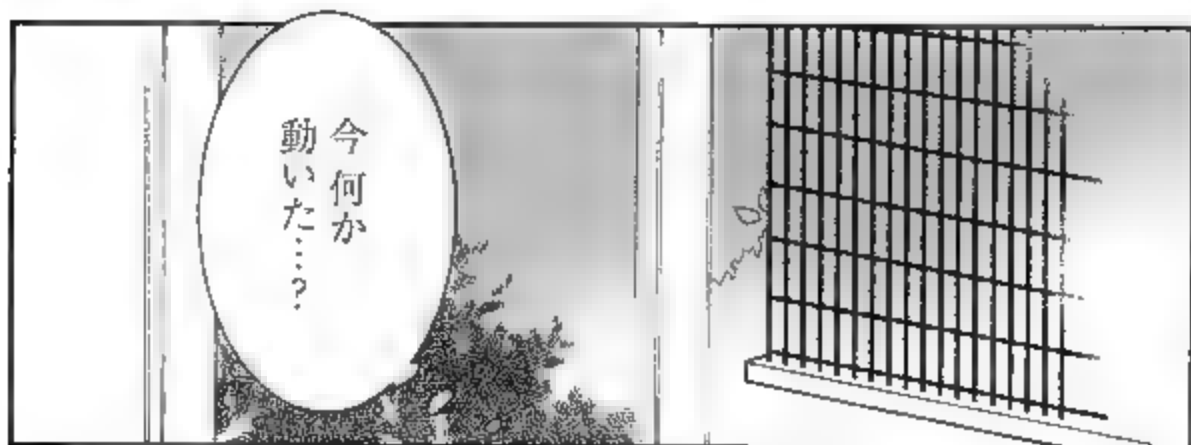
うろつくなって釘刺されたけど・・

トッ

近くで見れば何かつかめるかもしれない

眼鏡のせいかしら

彼

あなたに似ている

彼も
〝赤ヒョウ〟を
追っているわ

わかって
ほしい

これで
多くの人が
救われるんだ

なぜ
このこが
そんな目に
遭うの？

そんな理屈
わかりたく
ありません

人間のために
必要な
犠牲なんだ

病は
伝染性のものだ

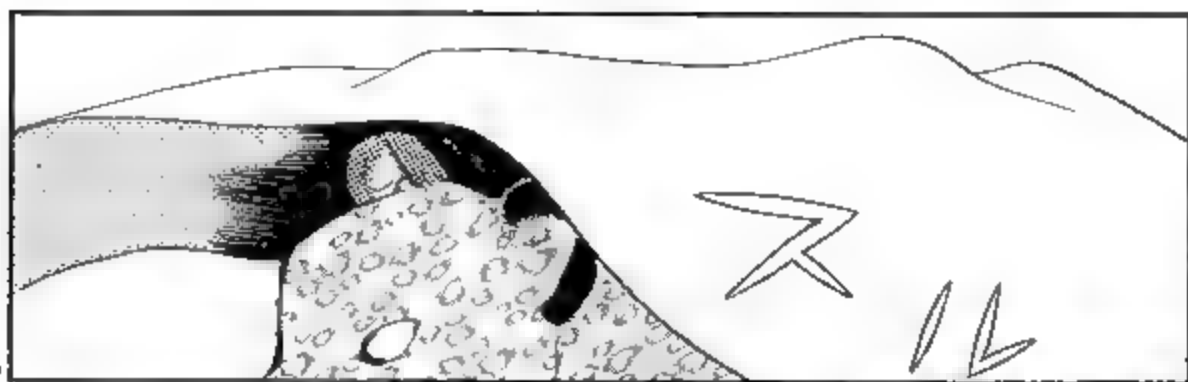
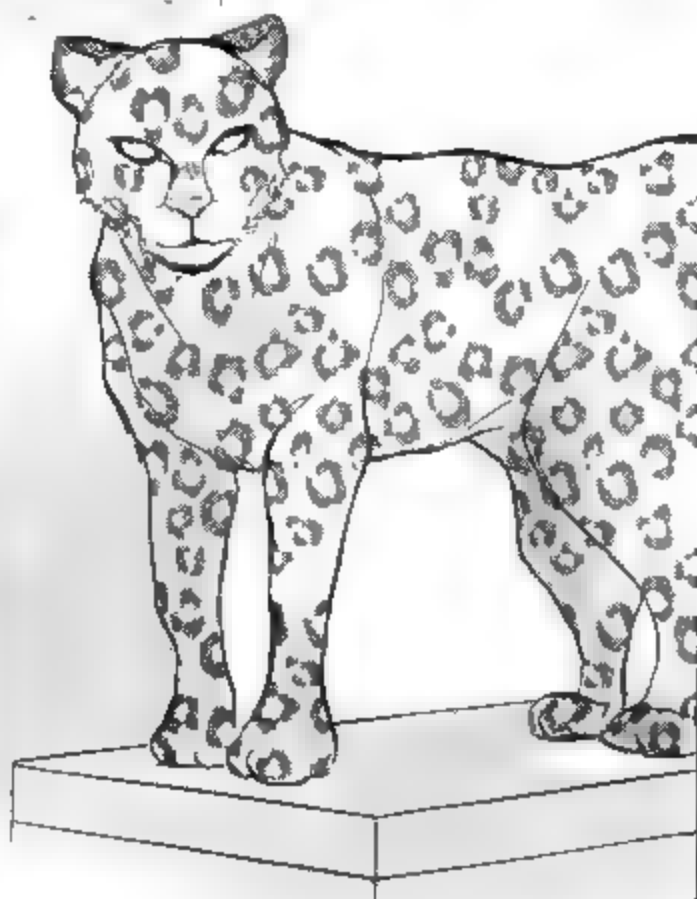
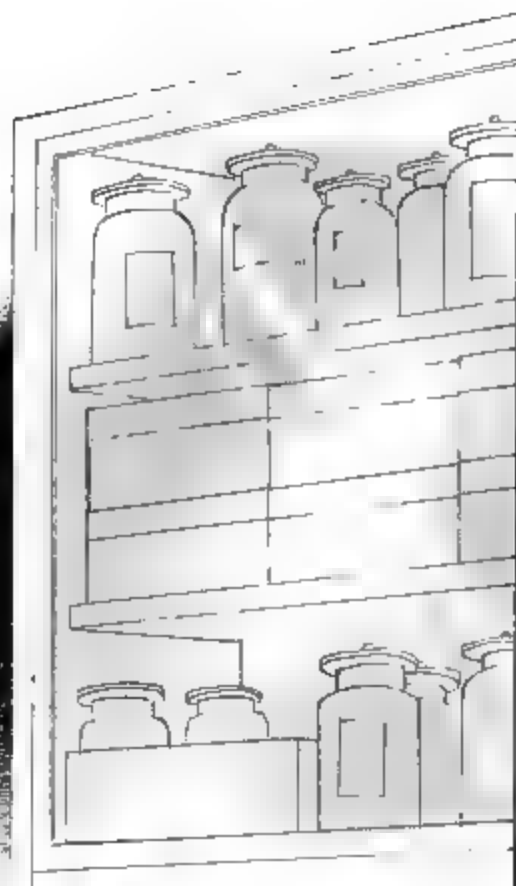
このままでは
きみも死ぬぞ

かまわないわ
なら私は人の側を棄てます
ピク

どうしてそっとしておいてくれないのかしら

資料室
キィ
雑誌 大正十年一月
雑誌 大正十年二月
雑誌 大正十年三月
雑誌 大正十年四月
大正…ずいぶん古いな
?
ス
!

赤い
豹柄模様!?
まさか
本当に…
いや豹の
剥製を
赤くした
のか…?
書庫
奥にも
何かあり
そうだ
ギィ

ドサッ
日誌
大正十年五月
…やっぱり
個体識別方法
頭頂部ノ
赤イ斑紋ガ
大キク梅ノ
花型。
古くて読みづらいけど…“赤い斑”の豹は確かにいたんだ
「歯・爪・骨の抽出成分が疫病に対し有用」
「年内中に薬の製品化を目指し――……」
伝承と同じだ

一個体カラ
効率的ニ 原料ヲ
採取スル方法ノ研究ヲ
生爪ヲ剥ゲト傷口ハ膿ムガ
組織ガ再生スル迄
触ラヌ様拘束具ヲ……
……
ひら

24

ギリギリギ
ゾワッ
他の部屋には入らないよう忠告したはずです
はっ
あ

勝手にすみません
…けど！そこの剥製
知ってるなら教えてください！
赤ヒョウは本当にいるんですか!?
ザァァ
ゴロゴロゴロ
僕たちは人を襲った害獣の対処を依頼されました
ここと関わりがあるなら
説明の義務があるでしょう!?
もし
未知の獣である赤ヒョウが実在するとして
高遠様はどうなさるのですか？

えっと
それは…
学術的な
価値から
駆除でなく
保護活動に
変わるのかな
どちらに
しろ
調査して
みないと…
赤ヒョウは
"守るべき
か弱い存在"に
変わる？
人の価値観で
左右できると
お考えなのね
それは人の
自惚れなのだと
お教えしましょう
人と赤ヒョウとが
関われば
不幸が起きます

ずっと昔から
この山に
生きていた
人が来る
よりずっと
まえから
しかし
薬の原料に
なると
知れると
その多くが
犠牲に
なりました
捕らえ
られ
拷問のような
仕打ちを
受けるのです
ここは
そのために
使われた
場所です

そんなふうにして作られた薬は
薬害を起こしました
製薬所は潰れ
人々は〝赤ヒョウの聖域〟としてこの地に立ち入らなくなった
伝承は実話なのです
なぜ人のために
赤ヒョウの命が削られるのでしょう？

……昔のことでしょう
今の時代ならそうせず済む道を探してる
答えになっていません
……
それが人の智恵だからだ
……
人は命を延ばすため動物を犠牲にする
それが人の智恵だと？

ならば呪いは
赤ヒョウがすみかを確保するための智恵です
そのために幾人かの犠牲が要った
人と同じ理屈です
呪い？バカバカしい
お伽話じゃないか
ガッ
ダン
!?

ゾ…
体が
グイッ
動かない…!
生爪をはがされた仲間の鳴き声は
未だに響いています
じわ、

ここを守るため
私はあなたを犠牲にします
呪いの力が信じられないのならお見せしましょう
プッ
プッ

赤ヒョウの
斑模様を

落ちたみたい

ピ
ピッ

ヌル
つっ…
…ことお
高遠!!
大丈夫か!?
今救助を呼んだ
…シーツ?
ああ
なんでこんな物がと近寄ったらおまえが倒れてて…
雨よけにもなってた
運のいい奴だよ

バラ
バラ
バラ
あの建物はどこにもなかった

…そう
結局 誘致に失敗して開発はなしになったらしい
動物生態学研究室
それはいいんだけど…
その遭難した学生がさ地主に許可とって
ひとりで調査続けるっつって
学校も来ないし正直やめさせたいけど
確信があるみたいで
そうなると説得も聞かなくてさー…

『おわり』